

今年度の **予算**をお知らせします

今年度の予算が3月市議会定例会で可決されました。

市税を主な収入源として、教育や福祉、土木など基本的な施策を進めるための一般会計、国民健康保険事業などの6つの特別会計、病院・水道・下水道事業を行う企業会計、島ヶ原・大山田財産区特別会計の予算額についてお知らせします。

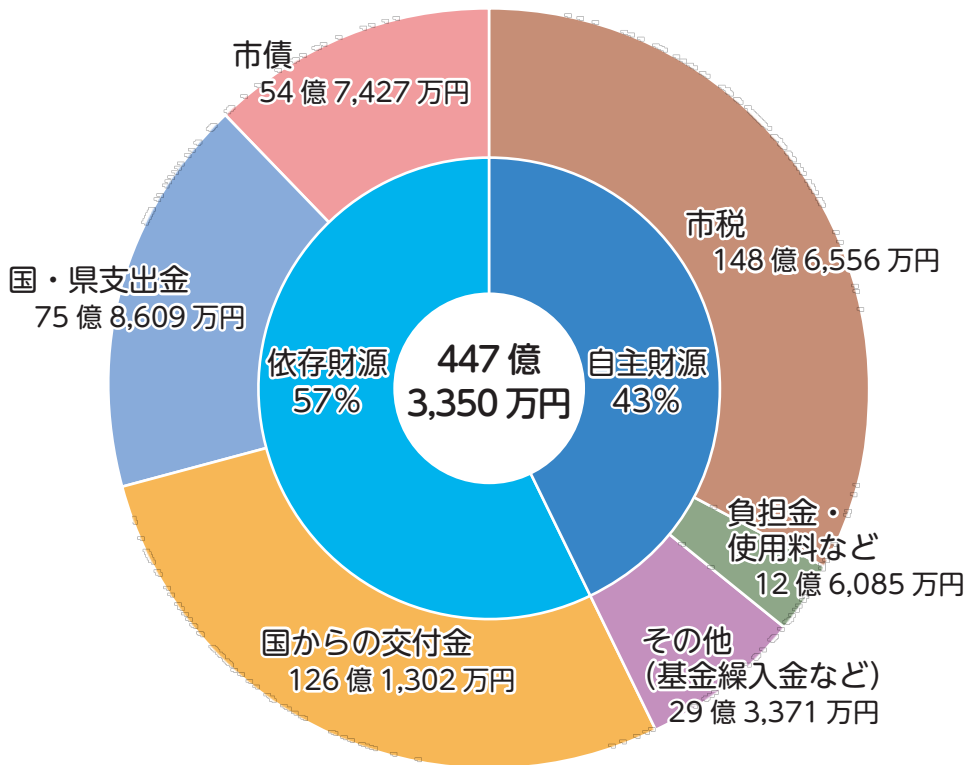
【問い合わせ】 財政課 ☎ 22-9608 FAX 24-2440

✉ zaisei@city.iga.lg.jp

持続可能な
まちづくり
まっぴたなし

伊賀市役所

歳入

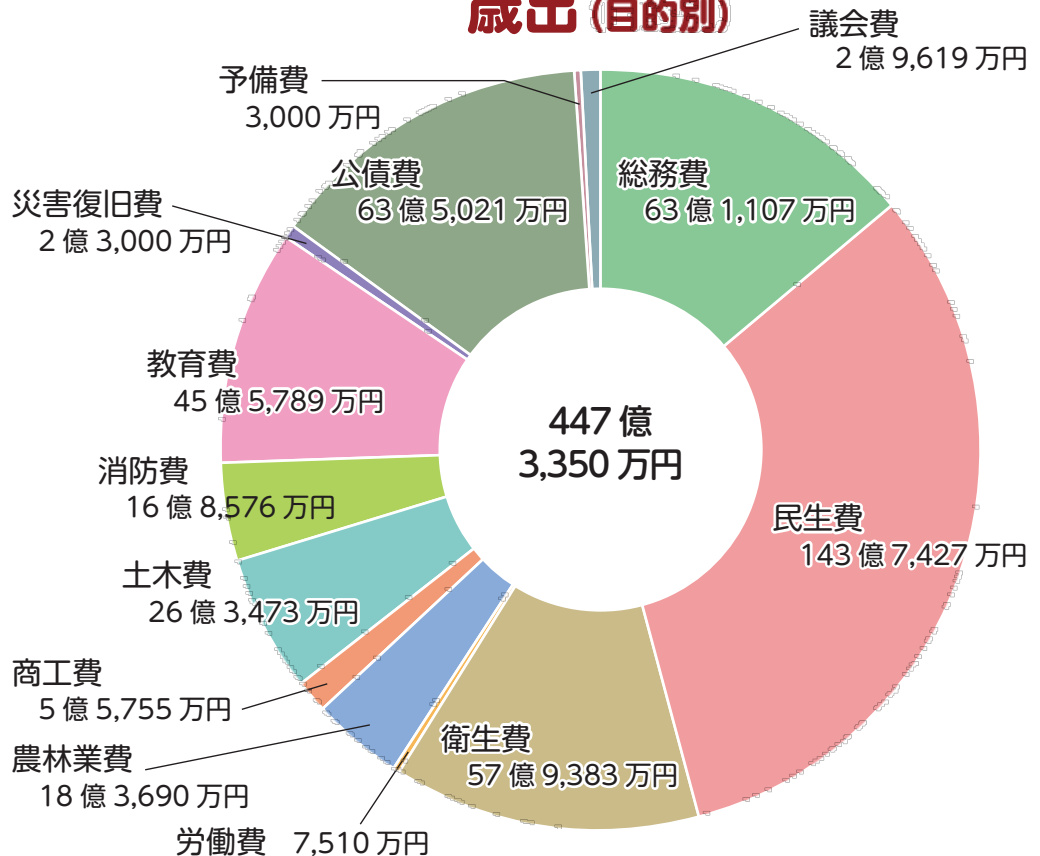


今年度の予算は、「伊賀流・元氣・にぎわいづくり」予算とし、中長期を見通した持続可能なまちづくりのため、「第2次伊賀市総合計画第2次再生計画」を進めながら、速やかに取り組み必要がある事業を重点化しています。一般会計では、昨年度と比較して6億1,577万円の減額となっています。

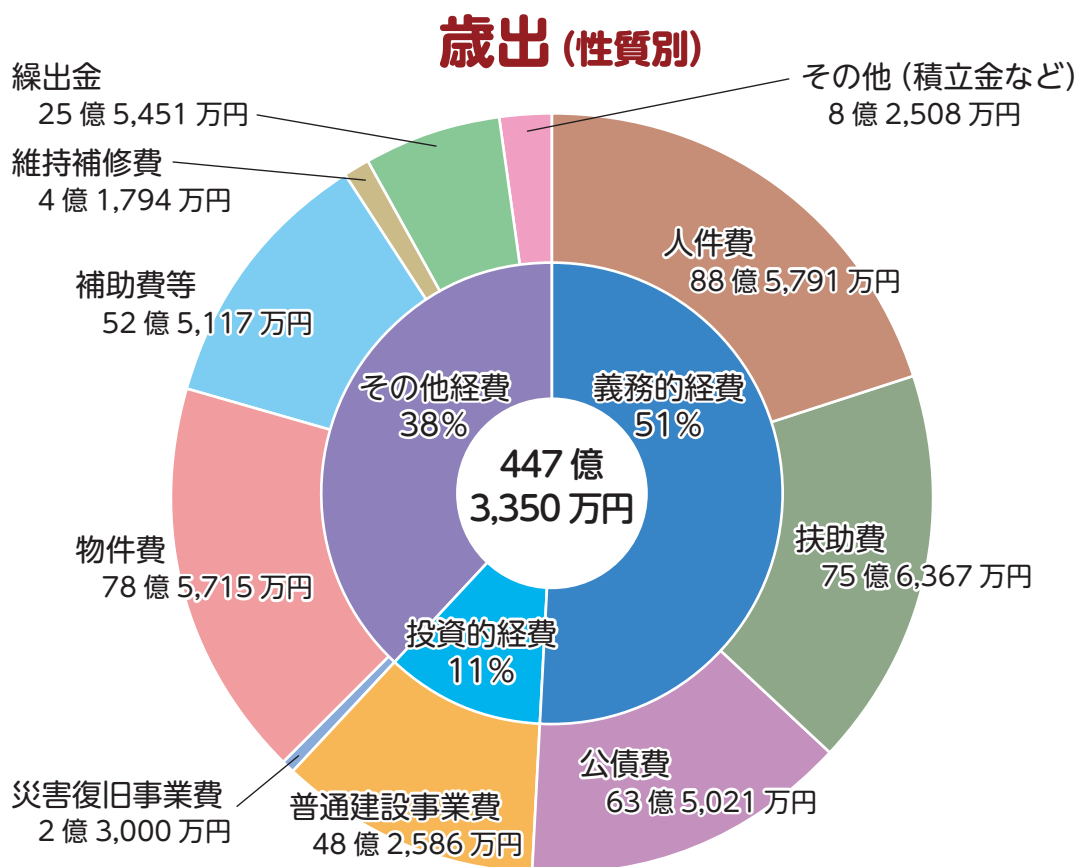
自主財源…地方公共団体が自主的に収入できる財源

依存財源…国や県からもらう交付金など

歳出 (目的別)



* 3月市議会定例会で可決された平成31年度一般会計予算、補正予算第1号および第2号



義務的経費…支出が法令で義務付けられている経費

投資的経費…道路・公園・学校・公営住宅の建設などに必要な経費

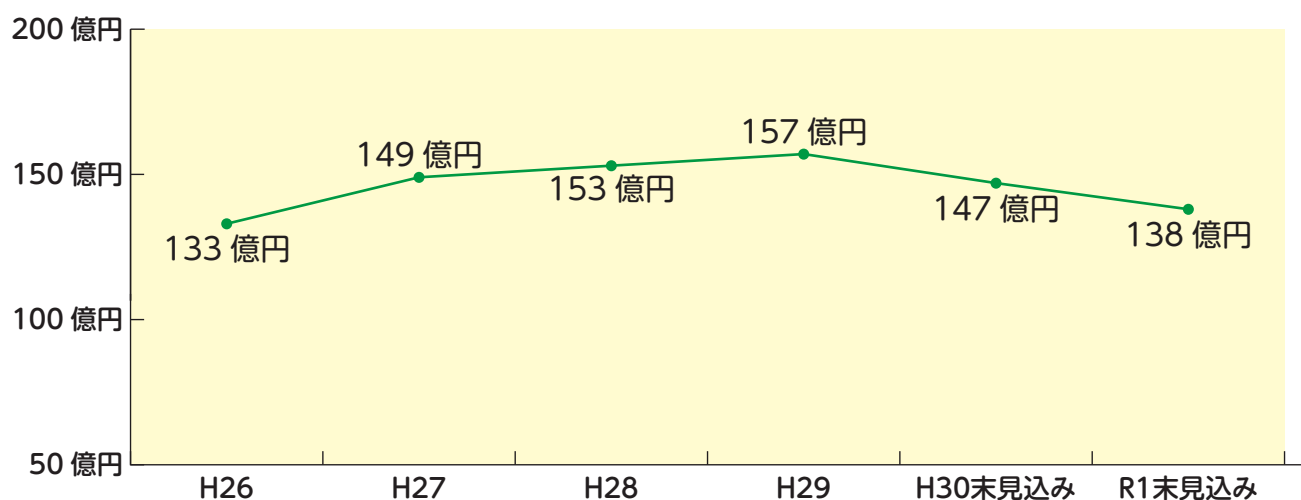
▶ 会計別内訳

会計名		予算額	伸率(%)
一般会計		447億3,350万円	△ 1.3
特別会計	国民健康保険事業	98億1,839万円	0.7
	(事業勘定)	97億1,868万円	0.7
	(直営診療)	9,971万円	0.4
	住宅新築資金等貸付	762万円	△ 1.1
	駐車場事業	5,008万円	4.8
	介護保険事業	107億7,527万円	7.2
	サービスエリア	1,015万円	△ 2.0
	後期高齢者医療	12億2,542万円	△ 3.0
	小計	218億8,693万円	3.1

会計名		予算額	伸率(%)
企業会計	病院事業	52億9,105万円	1.9
	水道事業	53億8,292万円	2.3
	下水道事業	44億2,261万円	1.2
	小計	150億9,657万円	1.8
財産区特別会計	島ヶ原財産区	2,769万円	0.0
	大山田財産区	1,258万円	0.0
	小計	4,027万円	0.0
合計		817億5,727万円	0.4

※予算書は通常千円単位で表すため、端数処理の関係で予算額と一致しないことがあります。

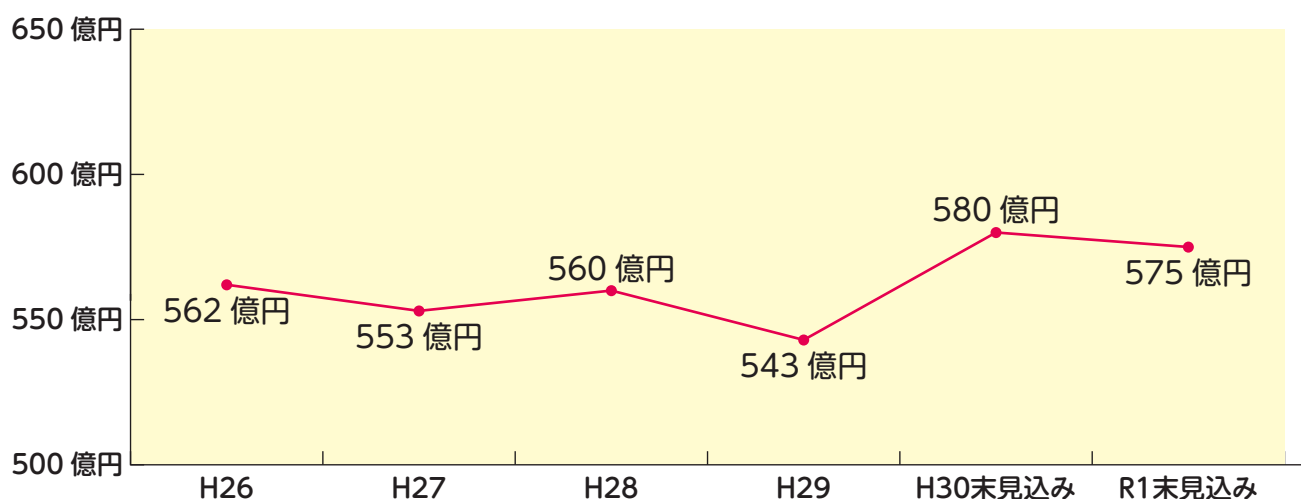
▶ 基金の残高



各事業を行うにあたり財源が不足しているため、市の貯金である基金から約 15 億 8,000 万円を取り崩す予定です。また、財政調整基金など約 6 億 5,200 万円を積み立てるため、今年度末の基金残高予定額は約 138 億円で、市民 1 人当たり約 15 万円となる見込みです。

※財政調整基金：大幅な税収の減少や、災害時などでの支出の増加に備えた積み立て

▶ 市債の残高



今年度は、約 54 億 7,000 万円の借り入れに対して返済額約 59 億 7,000 万円であるため、今年度末の市債残高予定額は約 575 億円で、市民 1 人当たり約 62 万円となる見込みです。

※グラフの金額は概算です。

今年度の主な事業

2～4 ページに掲載した予算により、次のような事業を予定しています。

伊賀流“元気・にぎわいづくり”予算 まったなしの状況を改善

中長期を見通した持続可能なまちづくりのため、改善が“まったなし”となっている次の項目について、「ええやん！伊賀プロジェクト」や「伊賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を進めつつ事業を重点化し、速やかに各種事業に取り組みます。



②災害対策の充実

自主防災組織活性化促進事業

103 万円（総合危機管理課）

市内自主防災組織が行う自主防災活動へ補助金を交付し、災害時において機能的な活動ができるよう全体的な組織強化を行います。

防災ハザードマップ作成推進事業

277 万円（総合危機管理課）

災害ハザード情報を地図に表したハザードマップを作成し、対象の市民に配布することにより防災啓発に努めます。

防災基盤整備事業

1,643 万円（消防総務課）

119 番通報時に通報者の位置を地図上に表示し、発生場所を特定する時間を短縮できる装置を導入し、救命率の向上を図ります。



①にぎわいの創出

空家等対策推進事業

1 億 995 万円（空き家対策室）

空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、特定空家等への措置を行います。また、空家などを適切に管理し、利活用を促進するよう啓発を行います。

忍者市プロジェクト事業

3,098 万円（観光戦略課）

「忍びの里伊賀甲賀忍者協議会」や「日本忍者協議会」などと連携し、「忍者市」である伊賀市ならではの観光誘客、情報発信に取り組みます。



③ 少子高齢化への対応

地域福祉施設整備事業

2億1,647万円（医療福祉政策課）

旧消防本部庁舎を改修し、地域福祉の機能と勤労者福祉の機能を併せた（仮称）伊賀市総合福祉会館を整備します。

利用者支援事業

672万円（健康推進課）

母子保健コーディネーターを配置し、妊娠・出産から子育て期までの家庭の個別ニーズを把握し、必要なサービスを円滑に利用できるよう、個別支援計画を作成するとともに、情報提供や相談など、切れ目のない支援を行います。



⑤ 活力あるまちづくりへの次世代育成

住民自治協議会推進事業 1億7,792万円
（地域づくり推進課、各支所振興課）

伊賀市自治基本条例に基づき、各地域における住民自治協議会の運営および地域が主体となり取り組むまちづくり事業を支援するため、地域包括交付金を交付し、住民自治活動の推進を図ります。

また、今年度は、「キラッと輝け！地域応援補助金」を創設し、地域における課題解決や地域の特色を活かしたまちづくり活動など、住民自治協議会が地域まちづくり計画に沿って実施する事業を支援します。

地方創生推進事業

3,636万円（総合政策課）

Uターン人材を育成するため市内高等学校と連携し「IGABITO（伊賀びと）育成ビジョン」に基づく育成コンテンツを実施します。また、伊賀市若者会議の活動を活発化させ地域住民が主体的に活動できる仕組みを構築します。



④ 未来を担うこどもの育成

小学校給食センター建設事業

13億4,748万円（教育総務課）

令和2年度の小学校給食センター開設に向けて、小学校給食配送校配膳室の改修工事や、民間活力導入により整備する給食センター施設の引き渡しを受けます。

学力向上推進事業

846万円（学校教育課）

学力アドバイザーの派遣、標準学力検査の実施などを行い、生徒の実態に即した授業改善やきめ細かい個別指導を実現します。

今年度より実用英語技能検定（英検）を受験する中学生に対して受験料の補助を行い、英語力の強化を図ります。



▲給食センターイメージ図